

平成27年度
建設局予算要求方針

【目次】

- 1 平成27年度建設局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1 平成27年度建設局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成27年度建設局予算要求総括表

【一般会計】

平成27年度要求総額 29,708,117千円

(平成26年度当初予算額 29,358,887千円)

前年度比 + 1.2%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 A	平成26年度 当初予算額 B	増減 A-B
道路・街路事業	21,193,595	21,436,312	△ 242,717
河川事業	2,455,998	2,380,648	+ 75,350
公園事業	5,261,382	4,823,316	+ 438,066

【土地取得特別会計】

平成27年度要求総額 1,500,000千円

(平成26年度当初予算額 1,500,000千円)

前年度比 ± 0.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 A	平成26年度 当初予算額 B	増減 A-B
街路事業	1,500,000	1,500,000	± 0

平成27年度 建設局当初予算総括表

【一般会計】 9款土木費

(単位：千円)

区分	H27当初予算 (要求額)	H26当初予算	増減額	前年度対比
道路事業	13,413,237	13,012,000	401,237	3.1%
街路事業	6,011,274	6,623,249	△ 611,975	△ 9.2%
道路・街路事業 計	19,424,511	19,635,249	△ 210,738	△ 1.1%
河川事業	2,092,575	2,041,900	50,675	2.5%
公園事業	2,643,151	2,200,439	442,712	20.1%
その他	53,000	4,800	48,200	1004.2%
投資的経費	24,213,237	23,882,388	330,849	1.4%
道路事業	1,769,084	1,801,063	△ 31,979	△ 1.8%
河川事業	363,423	338,748	24,675	7.3%
公園事業	2,618,231	2,622,877	△ 4,646	△ 0.2%
維持管理経費 計	4,750,738	4,762,688	△ 11,950	△ 0.3%
その他行政経費	744,142	713,811	30,331	4.2%
行政経費	5,494,880	5,476,499	18,381	0.3%
一般会計	29,708,117	29,358,887	349,230	1.2%
うち 道路・街路事業	21,193,595	21,436,312	△ 242,717	△ 1.1%
うち 河川事業	2,455,998	2,380,648	75,350	3.2%
うち 公園事業	5,261,382	4,823,316	438,066	9.1%

* 土木職員費は除く。

【特別会計】

(単位：千円)

区分	H27当初予算 (要求額)	H26当初予算	増減額	前年度対比
土地先行取得費 (街路事業)	1,500,000	1,500,000	0	0.0%
土地取得特別会計	1,500,000	1,500,000	0	0.0%

【合計（普通会計）】

(単位：千円)

区分	H27当初予算 (要求額)	H26当初予算	増減額	前年度対比
合計（普通会計）	31,208,117	30,858,887	349,230	1.1%

(2) 平成27年度建設局経営方針

建設局においては、人にやさしく活力あるまちの実現を目指し、「元気発進！北九州」プランと「北九州市新成長戦略」の推進を図るため、安全で安心なまちづくりや都市基盤の充実などに取り組みます。また、地方創生に配慮しながら、地域拠点の魅力アップにつながる施設整備を推進します。このため、限られた財源の中で、次の5つの方針に基づき、「選択と集中」による効果的な事業の推進に努めます。

- 1 より安全で安心な都市整備の推進
- 2 暮らしに身近なまちづくり整備の推進
- 3 真に必要な都市基盤の着実な整備
- 4 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ
- 5 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進

具体的には、

「1 より安全で安心な都市整備の推進」では、通学路の安全対策、アンダーパスの事故防止対策や橋梁の耐震化などを行い、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

「2 暮らしに身近なまちづくり整備の推進」では、地域に役立つ公園づくりや市民による地域のまちづくり整備など、地域の声を聞きながら、地域主体のまちづくりを推進します。

「3 真に必要な都市基盤の着実な整備」では、本市産業の競争力強化や、魅力的な都市を形成するため、主要幹線道路など基盤施設の整備を推進します。

「4 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ」では、小倉都心部の集客対策整備や旦過地区まちづくりに資する河川整備など、地方創生に配慮したまちのにぎわいづくりを推進します。

「5 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進」では、橋梁やトンネルの長寿命化に取り組むとともに、市民との協働による適正な維持管理を行います。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

1 より安全で安心な都市整備の推進

通学路の安全対策、アンダーパスの事故防止対策や橋梁の耐震化などに取り組み、より安全で安心な都市整備を推進します。

Ⅲ-1・継続

☀ 通学路の安全対策

940,400 千円

児童が安全に通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、更なる通学路の安全対策を推進します。



Ⅱ-1・継続

☀ 防災ガイドブック作成事業（拡充）

45,820 千円

災害が発生する恐れのある箇所や、防災に関する情報を周知する「防災ガイドブック」を全戸配布し、市民の主体的な防災対策を促進します。

※危機管理室等と連携して実施。

Ⅱ-1・継続

☀ アンダーパスの事故防止対策

300,000 千円

局地的な豪雨（ゲリラ豪雨）により冠水が心配されるアンダーパスで、事故防止対策を推進します。

Ⅱ-1・継続

☀ 災害時における緊急輸送道路の確保

949,800 千円

地震時に重要な役割を果たす緊急輸送道路に架かる橋梁の耐震補強などを実施します。

- ◆徳力葛原線（葛原跨線橋）、
砂津城内1号線（中の橋）など



2 暮らしに身近なまちづくり整備の推進

地域の声を聞きながら、地域に役立つ公園づくりや市民による地域のまちづくり整備など、地域主体のまちづくりを推進します。

Ⅲ-1・継続

☀ 地域に役立つ公園づくり事業

196,100 千円

小学校区を基本に既存の公園の再整備について、幅広く地域の意見を聞きながら公園の計画づくりを行い、地域住民と協働して、地域ニーズにあった公園へと改修します。



～ワークショップの状況～

Ⅱ-2・継続

☀ 子どもの安全・成長に配慮した公園整備事業

41,000 千円

子どもが健やかに成長し、犯罪等に巻き込まれない安全・安心な公園となるよう、公園整備にあわせて、安全性に配慮した遊具のリニューアルや配置の見直し、死角を生むような樹木等の剪定・撤去など、地域の実情に応じた取組を行います。



～公園整備のイメージ～

Ⅱ-2・継続

☀️ 健康づくりを支援する公園等整備事業

16,000 千円

【うち 7,000 千円は、「市民による地域のまちづくり整備事業」(P6)の再掲】

専門家の助言のもと、介護予防に効果的な 7 種類の健康遊具をセットで配置して、市民の健康づくりの拠点となる公園を整備します。

また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施します。

※ 健康遊具整備後は、保健福祉局が運動教室等を行い、継続的な健康づくりを普及啓発します。



～公園を活用した健康づくりイメージ～

Ⅲ-1・継続

☀️ バリアフリーのまちづくりの推進

831,300 千円

【うち 449,000 千円は、「通学路の安全対策」(P3)の再掲】

すべての人々が安全・安心で快適に暮らせる生活空間づくりを目指すために、歩道や公園などのバリアフリー化（段差の解消、手すり設置、エレベーター設置など）を推進します。

Ⅵ-2・継続

☀️ 自転車利用環境の整備

365,340 千円

環境負荷の少ない自転車の利用を促進するため、安全で快適な自転車利用環境の整備を進め、低炭素型のまちづくりを推進します。

Ⅵ-4・継続

☀️ 登山道・遊歩道の整備

24,000 千円

山歩きの魅力を充実させるため、眺望スポットの樹木剪定や案内板の設置など、登山道・遊歩道の整備を行います。

また、本市のシンボルである皿倉山周辺において、新たな魅力づくりなどを検討し、更なる集客力向上を図ります。

☀ 市民による地域のまちづくり整備事業

732,200 千円

市民の声を聞きながら、地域ニーズに対応した身近な生活道路・公園・河川の環境整備や維持補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進します。

3 真に必要な都市基盤の着実な整備

本市産業の競争力強化や、魅力的な都市を形成するため、主要幹線道路など都市基盤施設の整備を推進します。

☀ 主要幹線道路の整備

7,702,099 千円

主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備し、市内の渋滞対策、物流ネットワークの機能強化、地域間の連携・交流促進を図ります。

- ◆ 国道3号黒崎バイパス、戸畑枝光線、恒見朽網線、砂津長浜線、国道199号砂津バイパス、都市計画道路9号線（高野） など



戸畑枝光線枝光付近の完成イメージ

Ⅲ-1・継続

☀ 拠点公園の整備（都島展望公園、(仮)曾根豊岡地区公園） 592,000 千円

戸畑まちづくり構想の一環として、スポーツレクリエーション等が楽しめる都島展望公園を整備します。

また、曾根豊岡地区において、曾根干潟に隣接する恵まれた自然環境などを活用し、多目的グラウンドや野鳥観察施設などを整備します。



～都島展望公園イメージ～

Ⅱ-1・継続

☀ 主要河川の整備

1,422,675 千円

市内を流れる主要な河川について、浸水被害を未然に防ぐため、計画的に河川改修を進めます。

◆紫川、神嶽川、相割川、金山川、撥川 など



～撥川整備状況～

4 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ

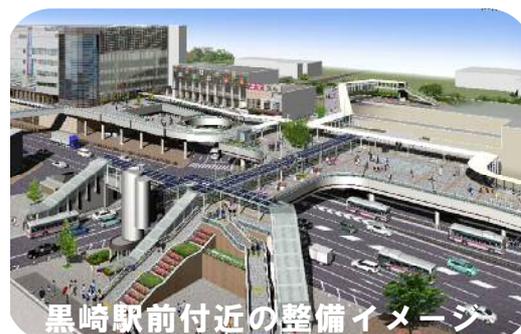
小倉駅・黒崎駅前の道路環境整備や旦過地区まちづくりに資する河川整備など、まちのにぎわいづくりを推進します。

Ⅳ-4・継続

☀ 小倉駅・黒崎駅前ににぎわいづくりの推進 1,681,791 千円

北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちのにぎわいづくりを推進します。

◆小倉駅南北公共連絡通路、
黒崎駅南北自由通路、
黒崎駅ペDESTリアンデッキ など



黒崎駅前付近の整備イメージ

☀ 旦過地区まちづくりに資する河川整備事業

【402,000千円は「主要河川の整備」(P7)の再掲】

402,000千円

長年市民に親しまれている旦過市場の治水安全度を高め、さらに魅力ある市場とするために、神嶽川の改修事業を地元と協働で重点的に推進します。



～浸水状況（平成21年7月）～

5 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進

市民共有の財産である都市基盤を健全な状態で維持するため、橋梁やトンネルの長寿命化に取り組むとともに、市民との協働による適正な維持管理を推進します。

V-3・継続

☀ 橋梁長寿命化事業

1,904,800 千円

【949,800 千円は「災害時における緊急輸送道路の確保」(P4)の再掲】

道路にかかる橋梁においても効率的かつ効果的な施設の維持管理を図るため、効率的かつ効果的に資産管理を行うアセットマネジメント(※)の考え方を取り入れ、定期的な点検の結果に基づき、橋梁の状態に応じた計画的な保守工事を行うなど、橋梁を長持ちさせる維持管理を推進します。

※アセットマネジメントとは、施設の状況把握と分析に基づき、問題箇所の早期発見と適切な対応や効果的な修繕による予防保全などを行い、中長期的な視点でより効率的かつ効果的な資産管理を行う方法です。

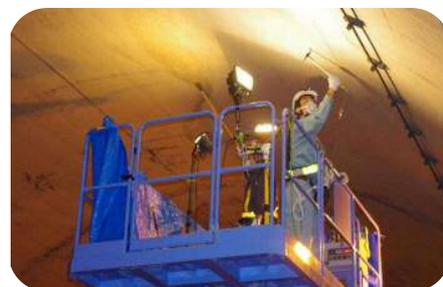


V-3・継続

☀ トンネル長寿命化事業

313,500 千円

効率的かつ効果的な施設の維持管理を図るため、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、定期的な点検結果に基づき、トンネルの状態に応じた保守工事を行うなど、トンネルを長持ちさせる維持管理を推進します。



～トンネル点検の様子～

Ⅲ-3・継続

☀️ 道路サポーター事業 17,810 千円

道路の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民と協働による道路環境の向上と美しいまちづくりにつなげていきます。



「道路サポーター活動状況」

Ⅲ-3・継続

☀️ 公園愛護会補助事業 6,153 千円

公園の除草や清掃、花壇づくりなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による美しい公園づくりに努めます。



「公園愛護会活動状況」

Ⅲ-3・継続

☀️ 河川愛護団体補助事業 310 千円

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による河川環境の保全に努めます。



「河川愛護団体活動状況」